

グラミン日本の理念（グラミン日本が目指す社会）

- 貧困のない、誰もが生き生きと生きられる社会
- 貧困・生活困窮に陥った時、そこから脱却する助けがセーフティネット/ソフト・インフラとして整備されている社会
- 生業的な起業（プチ起業/小商い）が普通にできる社会
- Job SeekerよりJob Creatorが活躍できる社会
- 地域・コミュニティがお互いに助け合い、共感のある社会
- ソーシャルビジネス7原則が実践される社会
- 会社は株主だけでなく、経営者、社員、取引先、顧客、地域・コミュニティなど全ステークホルダーに貢献する社会



グラミン日本

—貧困のない、誰もが生き生きと生きられる社会へ—

一般社団法人 グラミン日本

■理事会

会長	ムハマド・ユヌス博士
理事長	菅 正広
理事	百野公裕
理事	多賀俊二
理事	白瀧征人
監事	井上 陽
監事	兒玉久実
顧問	根本剛史
顧問	江成道子

■アドバイザーボード

青井浩(丸井グループ代表取締役社長)
榮川和広(弁護士)
神永晋(元住友精密工業社長)
北原義一(三井不動産代表取締役副社長)
佐藤慎一(第一生命経済研究所特別顧問、元財務省財務事務次官)
鈴木敦子(ETIC.理事兼事務局長)
原文人(アライアンスフォーラム代表理事/デフタパートナーズ会長)
中内綾(アフリカ協会理事)
中村誠司(中央電力代表取締役)
新田信行(第一勧業信用組合理事長)
丹羽恵久(ポストン・コンサルティング・グループPartner & Managing Director)
藤沢久美(シンクタンク・ソフィアバンク代表)
古村伸宏(ワーカーズコープ理事長)

【2018年9月13日現在、あいうえお順、敬称略】

お問い合わせ先

support@grameen.jp

<https://grameen.jp>

〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目8番3号
第4江戸橋ビル 5F
一般社団法人 グラミン日本

ついにグラミンが日本に！



© Nasir Ali Mamun (Yunus Center)

グラミン日本は、貧困や生活困窮の状態にある方々に低利・無担保で少額の融資を行い、こうした方々が起業や就労によって貧困や生活困窮から脱却し自立するのを支援するマイクロファイナンス機関（※1）です。

これまでの金融ではカバーされなかった方たち、たとえば働く意欲はあっても今は生活が苦しいシングルマザーやワーキングプアの人たち、障がい者や就職弱者の人たちに生活資金ではなく「起業や就労の準備のためのお金」を融資します。

- バングラデッシュで最初に設立されたグラミン型マイクロファイナンスは、開発途上国のみならず、アメリカをはじめ欧米先進国でも貧困削減に効果（※2）を上げています。

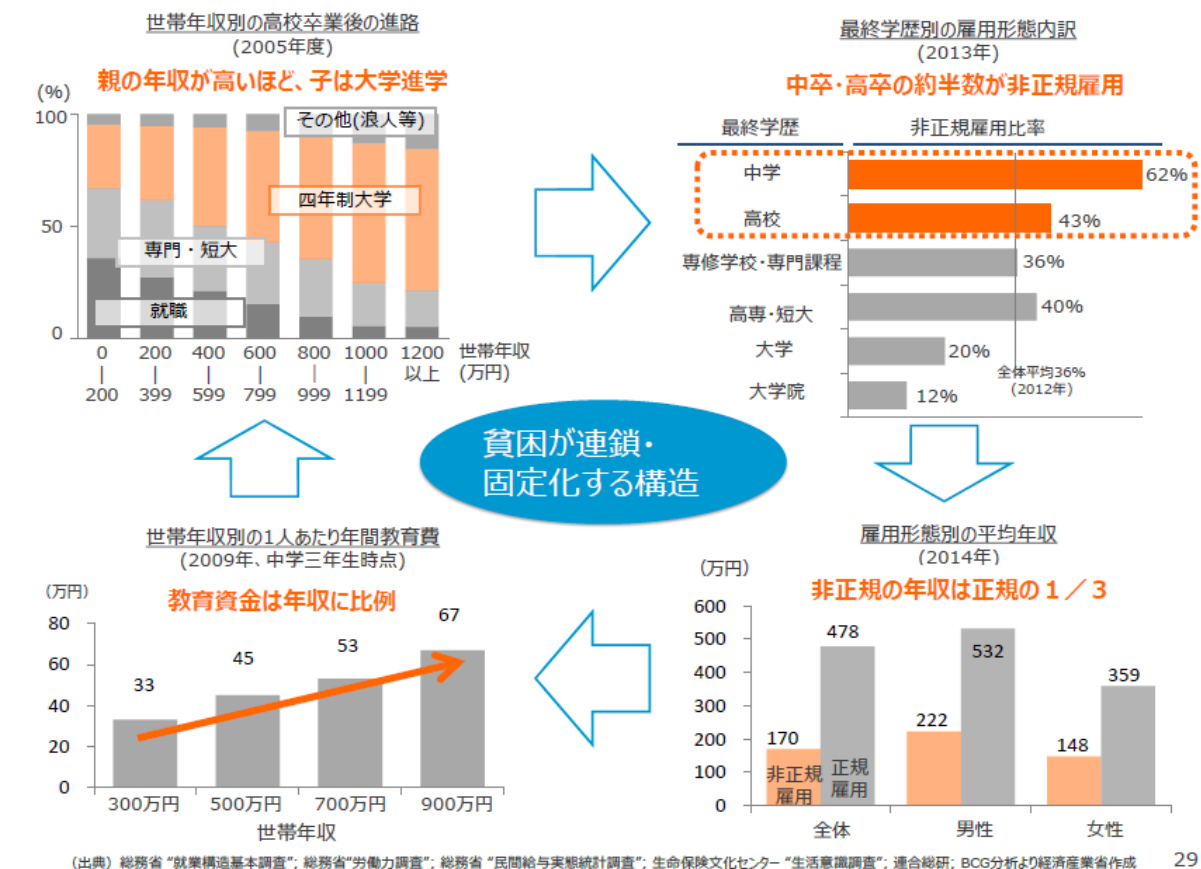
- グラミン銀行の日本版であるグラミン日本は、日本の実態にあった方法で運営します。

- 貧困のない、誰もが生き活きと生きられる社会をつくりたい、それが私たちの想いです。

【経緯】
2017年2月、グラミン銀行創設者でノーベル平和賞受賞者ムハマド・ユヌス博士と菅正広教授（明治学院大学大学院）が「グラミン日本」設立について合意。同8月に一般社団法人グラミン日本準備機構を設立して準備を進め、2018年9月13日、グラミン日本を設立・事業開始。

グラミン日本が必要とされる背景 - 日本の貧困の現状

先進国と呼ばれる日本。しかしながら、格差は徐々に拡大し、今では国民の6人に1人が貧困ライン以下の生活を余儀なくされています（※3）。現代の日本では、貧困は失職、病気、ケガ、事故、配偶者との離別・死別などによってほとんどの人に起こり得る、明日は我が身の問題になっています。



（※1）マイクロファイナンス機関とは、①生活困窮（貧困）者に対する②小規模な③無担保融資などの金融サービス（保険・送金・貯蓄）を提供する金融機関。

（※2）2007年に米国で設立されたグラミンアメリカでは、約10年間で約10万人を対象に、8.7億ドル（約930億円）の融資を行い、10万5,000件の雇用を創り出しています。

（※3）厚生労働省の調査によると、日本国民の15.6%、6人に1人の約2,000万人が貧困ライン以下で生活しています（2015年）。日本では過去30年以上一貫してシングルマザーの過半数が貧困という現状にあり、そのような国はOECD先進国35カ国の中で日本だけです。

グラミン日本のビジネスモデル

支援対象者

グラミンの支援対象者（グラミンでは「メンバー」と呼ばれます）は、以下の条件を満たす方々です。

- ・ 貧困ライン以下の生活困窮者（※4）で、働く意欲と能力のある人
- ・ 互助グループ（5人一組）（※5）を作る人（グラミン銀行やグラミンアメリカと同様に、借り手が5人一組となって互助グループを作ります）
- ・ 働いて生活をステップアップしたい人、前向きに生きていきたい人

私たちは、働く場所があるということが真の意味で人を貧しさから救う、そして融資資金はそのための種（シード）になると考えています。

- ・ グラミン日本では、働く意欲はあっても今はお金がない方々に融資と仕事の機会をワンセットで提供します。融資の後にも毎週のセンターミーティングでグラミン日本のスタッフがきめ細かいフォローアップを行います。
- ・ 起業した方には経営のアドバイスを、また、就労を目指す方には就労支援を行うなど、顔の見えるコミュニケーションを行います。
- ・ 融資を受けたメンバー間は、励まし合いながらローンを返済し自立を目指します。

ご支援について

私たちは、現在、連携してくださる企業や団体、また、個人・企業・団体の皆さまの資金的・人的サポートをお願いしています。グラミン日本は東京から活動を始めますが、実績を積み上げ、大阪、名古屋、東北復興地域、福岡、北海道、沖縄などにも拡大・展開することを計画しています。全国の皆さまのご支援を心よりお願い申し上げます。

ご寄付	グラミン日本の理念や活動に共感いただける方からいただく有難いご支援です。
基金	基金は、グラミン日本の資本金に当たるものです。事業利益はグラミン日本の事業を改善したり、拡大したりするために使われます。グラミン日本はユヌス・ソーシャルビジネス7原則に基づいて設立・運営されますので、配当はありません。
賛助会員	緊密かつ継続的にグラミン日本の事業にご支援をお願いするものです。

グラミン日本はユヌス・ソーシャルビジネス7原則に基づいて運営します。

1. 利益の最大化ではなく、社会問題の解決こそが目的であること。
2. 財務的に持続可能であること。
3. 投資家は投資額を回収するが、それ以上の配当は分配されないこと。
4. 投資額以上の利益は、ソーシャルビジネスの拡大や改善のために使うこと。
5. 環境へ配慮すること。
6. スタッフは標準以上の労働条件・給料を得ること。
7. 楽しみながら仕事をする事。

ユヌスの
ソーシャル
ビジネス
7原則

（※4）潜在的な生活保護受給資格者や、生活保護基準の1.8倍以内の低所得者など。

（※5）5人一組の互助グループはグラミン・メンバーの基本単位です。お互いに監視をするのが目的ではなく、信頼関係に基づいて仲間と一緒に支え合って頑張っていくコミュニティです。